

診療情報を利用した臨床研究について

虎の門病院血液内科及び虎の門病院分院血液内科では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた記録をまとめるものです。この案内をお読みになり、ご自身やご家族がこの研究の対象者にあたると思われる方の中で、ご質問がある場合、またはこの研究に「自分やご家族の診療情報を使ってほしくない」とお思いになりましたら、遠慮なく下記の相談窓口までご連絡ください。

【対象となる方】

1999年1月1日～2022年1月31日の間に、造血器疾患のために虎の門病院血液内科及び虎の門病院分院血液内科に入院・通院し、骨髄増殖性腫瘍に対して同種造血細胞移植を受けられた方

【研究課題名】

骨髄増殖性腫瘍に対する同種造血細胞移植の検討

【研究の目的・背景】

《目的》

骨髄増殖性腫瘍に対する同種造血細胞移植の至適な幹細胞源、移植前処置、GVHD 予防について検討することを目的とします。

《研究に至る背景》

骨髄増殖性腫瘍に対する同種造血細胞移植は根治的治療として認知されていますが、移植対象となる患者さんが少ないため国内における経験症例数はまだまだ少ないのが現状です。骨髄増殖性腫瘍による骨髄線維症や脾腫の影響によって比較的高頻度で生着不全が起こり、また、比較的高頻度に様々な臓器障害を発現するため、移植治療の難易度が高い疾患です。そのため、至適な幹細胞源、移植前処置、GVHD（移植片対宿主病）予防は確立されていません。このことから、本研究ではこの点に着目して当院における移植症例の解析を行います。これらの情報は今後の移植医療の発展のためにも意義深いと考えられます。

【研究のために診療情報を解析研究する期間】

2019年5月15日～2030年3月31日

【単独／共同研究の別】

虎の門病院単独研究

【個人情報の取り扱い】

お名前、ご住所などの特定の個人を識別する情報につきましては特定の個人を識別するこ

とができないように個人と関わりのない番号等におきかえて研究します。学会や学術雑誌等で公表する際にも、個人が特定できないような形で発表します。

また、本研究に関わる記録・資料は虎の門病院・血液内科・谷口 修一のもと研究成果発表後 5 年間保管いたします。保管期間終了後、本研究に関わる記録・資料は個人が特定できない形で廃棄します。

【診療情報を虎の門病院・虎の門病院分院の院外へ提供する場合】
該当しません。

【利用する診療情報】
診療情報：検査データ、診療記録、薬歴

【研究代表者】
虎の門病院・血液内科・高木伸介

【虎の門病院における研究責任者】
血液内科・高木伸介

【利用する者の範囲】
共同研究機関：なし

【研究の方法等に関する資料の閲覧について】
本研究の対象者のうち希望される方は、個人情報及び知的財産権の保護等に支障がない範囲内に限られますが、研究の方法の詳細に関する資料を閲覧することができます。

【ご質問がある場合及び診療情報の使用を希望しない場合】
本研究に関する質問、お問い合わせがある場合、またはご自身やご家族の診療情報につき、開示または訂正のご希望がある場合には、下記相談窓口までご連絡ください。
また、ご自身の診療情報が研究に使用されることについてご了承いただけない場合には研究対象といたしませんので、2022年12月31日までの間に下記の相談窓口までお申し出ください。この場合も診療など病院サービスにおいて患者の皆様にご不利益が生じることはありません。

【相談窓口】
虎の門病院 血液内科・高木 伸介
電話 03-3588-1111(代表)
虎の門病院分院 血液内科・和気 敦
電話 044-877-5111(代表)